

## JOMF 派遣医師便り (2016. 9)

### ◆マニラ◆

**「妊娠中、妊娠予定の方は可能な限り渡航を  
お控えください」—シンガポール、フィリピン**

### —ジカ熱の発生—

マニラ日本人会診療所

菊地 宏久

「妊娠中、妊娠予定の方は可能な限り渡航をお控えください」。  
米国・フロリダ州への渡航に際しての注意に引き続き、8月末にはシンガポール、9月初旬にはフィリピンへの渡航についても同様の注意事項が日本政府から発せられました。

ジカ熱はデング熱やチクングニヤ熱と同様に蚊を介して感染します。また、母体から胎児への感染、輸血や性交渉によるリスクも指摘されています。ジカ熱は症状が軽いために気づきにくいこともありますが、稀にギランバレー症候群（重篤な麻痺・脱力を起こす末梢神経疾患で悪化すると呼吸不全や重症不整脈を発症する疾患）などを発症すると考えられています。また、妊娠中に感染すると胎児に小頭症などの先天性障害をきたすことがあることから、日本政府は流行地訪問に際し「妊娠中、妊娠予定の方は可能な限り渡航をお控えください」と呼びかけています。WHOは2016年3月、「妊婦は流行地域への渡航をすべきでない」と勧告しています。

ジカ熱は上記のように性感染症としてもとらえられています。WHOは9月6日、ジカ熱流行地域への渡航中または流行地域から帰国した男女は症状の有無にかかわらず最低6か月間、パートナーが妊婦の場合は妊娠期間中、性行為の際にコンドームを使用するか性行為を控えることを推奨しています。

流行地域へ出かける際は、肌を露出せず、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないように注意することも大切です。

#### ＜ジカ熱の症状と治療＞

感染後2～7日後に発症し、発熱、頭痛、関節痛、発疹、眼球結膜充血などを呈するウイルス感染症です。根本的な治療法はなく対症療法を行います。

WHO や外務省からのお知らせや情報が逐次更新されています。新しい情報に耳を傾け、健康にお過ごしください。

(参考資料：日本国厚生労働省ホームページ・外務省ホームページ 2016年9月1日、9月6日。WHO ホームページ 2016年9月6日)